

第五回武道執行専門委員会の報告

平成二十七年二月八日（日）京都・新都ホテル、末広の間において一般社団法人大日本武徳会 第五回武道執行専門委員会が開催された。定刻午前十時、第五回武道執行専門委員会司会進行濱田理事が開会を告げ、始めに桑原武道執行専門委員長の挨拶があった。

武道執行専門委員は、武道及び運営等の活動の中核をなし、多方面に亘るリーダーシップが要求されると司会進行濱田理事から説明がされた。

会議は本会初となる試みで、武種別に居合道三卓、空手道、剣道、柔術、古武道の全七テーブルに分かれ、テーブルごとに協議した。

その目的は次の三点である。

- 一、武種別の横の連携を図り理解を促進させること
- 二、武種別の発展に対する協議を促進させること
- 三、円卓会議での発表結果を理事会に提案すること

円卓会議での討議項目は次の四点である。

- 一、内規項目については資格と役割について
- 二、大会検証委員、大会管理運営委員の役割と責任について
- 三、高段者審査会について資格、基準、方法について
- 四、武種に関して発展、促進させる事の提案

以上の目的と項目に沿って円卓会議が実施された。



午後〇時、中田居合道統括委員長の閉会の挨拶で、第五回武道執行専門委員会は閉会した。

まず内規について高田理事が説明した後、四十分に亘り熱の入った討論が各円卓で展開された。

そしてテーブルごとに円卓会議武種別リーダーによって、その成果が発表された。

内規に関して各テーブルの回答は、さほど差異はなく、大会検証委員の役割と、管理運営委員に関しては様々な意見が発表された。

高段者審査については武種別に検討項目が提案された。

時間不足のため議論できない項目もあったが、これらの意見はさらに討議していくことで理解を得た。

武道執行専門委員長 桑原兵充
武道執行専門副委員長 高田寛次